

事務事業評価表 平成23年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 子どもの可能性を伸ばす教育の充実
 基本事業 健康と食育の充実

事業名 **中文連・中体連各種大会参加補助事業**

[0417]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	学校教育支援室 学校教育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>中学校文化連盟 中学校体育連盟</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>各種大会や発表会に参加する経費等を補助することにより、中学生の文化活動や、体育活動の振興を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>下記の大会などに参加するため、補助金を交付する 例：中文連の吹奏楽コンクール、演劇発表会等。</p> <p>下記の大会などに参加するため、補助金を交付する。 例：中体連の市内大会、管内大会、北海道大会、全国大会</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	連盟の会員数	人	4,540	4,414	4,248	4,166
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	10,067	10,710	10,762	8,431
活動指標2						
成果指標1	大会参加者数	人	3,446	3,336	3,196	3,196
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	10,068	10,710	10,762	8,431
正職員人件費 (B)		千円	836	830	806	815
総事業費 (A) + (B)		千円	10,904	11,540	11,568	9,246

費用内訳	
22年度	負担金 補助及び交付金 10,762千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

中学生の文化やスポーツに対する正しい理解と関心を深め、心身ともに健全な生徒の育成を図ることができ、妥当である。
江別市教育振興事業補助金交付規則、中学校吹奏楽・合唱コンクール派遣費補助基準、中学校体育大会派遣費助成基準を基に支出している。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

目標を持って努力することによってさまざまな困難を乗り越え、心身ともに鍛えられ健康な体を育む。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

各種大会に出場しクラブ活動が活発である。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

各種大会に出場する生徒に対して、全て基準に基づき補助を行なっている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

旅程等をもっとも合理的な期間等で計算している。